

令和6年度福島県知的障害者福祉協会定期  
総会及び第1回施設長・管理者等連絡協議会

令和6年度福島県知的障害者福祉協会定期総会及び  
第1回施設長・管理者等連絡協議会 次第

日時 令和6年4月26日(金)

13:00~16:30

場所 郡山総合福祉センター5階集会室

- 1 受付
- 2 開会の言葉
- 3 会長挨拶
- 4 中央情勢報告
- 5 部会協議会
- 6 議事録署名人指名
- 7 議長選出
- 8 議事

【協議事項】

(1) 議案1

令和5年度事業報告及び収支決算報告(事務局・部会・委員会)

- |               |      |            |      |
|---------------|------|------------|------|
| ・日本・東北・福島福祉協会 | ～P3  | ・事務局       | ～P5  |
| ・児童発達支援部会     | ～P15 | ・障害者支援施設部会 | ～P17 |
| ・日中活動支援部会     | ～P19 | ・地域支援部会    | ～P21 |
| ・生産活動・就労支援部会  | ～P24 | ・支援スタッフ部会  | ～P26 |
| ・人権・倫理委員会     | ～P29 | ・政策委員会     | ～P31 |
| ・研修委員会        | ～P32 |            |      |

(2) 議案2

令和6年度事業計画及び収支予算(事務局・部会・委員会)

- |               |      |            |      |
|---------------|------|------------|------|
| ・日本・東北・福島福祉協会 | ～P37 | ・事務局       | ～P39 |
| ・児童発達支援部会     | ～P43 | ・障害者支援施設部会 | ～P45 |
| ・日中活動支援部会     | ～P47 | ・地域支援部会    | ～P49 |
| ・生産活動・就労支援部会  | ～P51 | ・支援スタッフ部会  | ～P53 |
| ・人権・倫理委員会     | ～P57 | ・政策委員会     | ～P59 |
| ・研修委員会        | ～P60 |            |      |

(3) 議案3

障害者支援施設福島県けやき荘における虐待事件の聞き取り調査について

(4) 議案4

役員改選について

【報告事項】

- (1) 令和6年能登半島地震に伴う義援金について
- (2) 令和7年度全国知的障害福祉関係職員研究大会について
- (3) 第10回全国・中学校障がい福祉ふれあい作文コンクールについて

- 9 その他
- 10 閉会の言葉

# 議 案 1

令和5年度事業報告及び収支決算報告  
(事務局・部会・委員会)

令和5年度 日本・東北地区・福島県知的障害者福祉協会 活動報告

(1) 日本知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所	備考
全国知的障害関係施設長等会議	令和5年7月13日(木)～14日(金)	東京都	集合開催
日中活動支援部会全国大会	令和5年12月7日(木)～8日(金)	大阪府	集合開催
障害者支援施設部会全国大会	令和6年1月18日(木)～19日(金)	沖縄県	集合開催
全国知的障害福祉関係職員研究大会	令和5年11月16日(木)～17日(金)	山梨県	集合開催 オンデマンド 配信
全国グループホーム等研修会	令和5年10月3日(火)～4日(水)	広島	集合開催
相談支援・就業支援セミナー	令和5年12月5日(火)～18日(月)		オンデマンド 配信
全国生産活動・就労支援部会職員研修会	令和6年2月14日(水)～28日(水)		オンデマンド 配信
全国会長・事務局長会議	令和5年10月25日(水)～26日(木)	東京都	集合開催
全国児童発達支援施設運営協議会	令和5年11月28日(火)～29日(水)	愛知県	集合開催
リスクマネジャー養成研修会	令和5年11月7日(火)～9日(木)	東京都	集合開催
リスクマネジャー養成研修会(上級)	令和5年6月29日(木)～30日(金)	東京都	集合開催
部会協議会及び全国支援スタッフ委員会代表者会議	令和6年3月7日(木)～8日(金)	東京都	集合開催
全国障害者芸術・文化祭	令和5年10月14日(土)～令和5年11月26日(日)	石川県	
全国障害者スポーツ大会	令和10月28日(土)～30日(月)	鹿児島県	

(2) 東北地区知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所	備考
《研修会・会議等》			
東北地区知的障害者福祉協会施設長・管理者等連絡協議会及び総会	令和5年6月19日(月)～20日(火)	青森県	集合開催
東北フォーラム実行委員会	7月・8月・9月・10月・11月・1月	宮城県	集合開催
東北地区知的障害者福祉協会専門研修会	令和5年9月14日(木)～15日(金)	山形県	集合開催
東北フォーラム2023inみやぎ	令和5年11月30日(木)～12月1日(金)	宮城県	集合開催
東北未来塾(仮称)準備室ヒアリング	令和5年12/18、令和6年3/25 欠席者分として追加開催2/19、2/29	宮城県	集合開催

《役員会等》			
第1回理事会・監事会・合同委員会	令和5年5月24日(水)	宮城県	集合開催
第2回理事会・合同委員会	令和5年12月26日(火)	宮城県	集合開催
第3回理事会・合同委員会	令和6年3月18日(月)	宮城県	集合開催

(3) 福島県知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所	備考
第1回理事会	令和5年4月19日(水)	西郷村	集合開催
令和5年度福島県知的障害者福祉協会定期総会及び第1回施設長・管理者等連絡協議会	令和5年4月26日(水)	西郷村	オンライン開催 会長及び議長のみ出席(他委任状等)
第1回正副会長会議	令和5年7月14日(金)	西郷村	集合開催
第2回正副会長会議	令和5年9月22日(金)	西郷村	集合開催
第10回作文コンクール福島県選抜作品選定	令和5年9月22日(金)	西郷村	集合開催
第3回正副会長会議	令和5年11月8日(水)	西郷村	集合開催
第2回理事会	令和5年12月6日(水)	西郷村	集合開催
第2回施設長・管理者等連絡協議会	令和5年12月13日(水)		オンライン開催
令和6年能登半島地震に伴う臨時理事会	令和6年1月29日(月)		オンライン開催
令和5年度合同研修会実行委員会	令和6年2月【中止】		
令和6年度福島県知的障害者福祉協会合同研修会	令和6年2月【中止】		
第4回正副会長会議	令和6年2月29日(木)	西郷村	集合開催

令和6年3月31日現在

1 日本知的障害者福祉協会及び東北地区知的障害者福祉協会等との連携を密にし、県内施設間での情報交換や組織的活動を活発化する。

・協会組織と外部団体

令和5年度においては新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したこともあり、第1回、第2回理事会においては集合型、総会及び施設長・管理者等連絡協議会においてはzoomによるweb会議での開催となった。

また、福島県知的障害児者生活サポート協会についても同様に理事会及び代議員総会を集合で開催となった。

東北地区知的障害者福祉協会の理事会及び合同委員会でも集合とwebによる会議が実施され、関係者の皆様がそれぞれに参加することが出来ていた。

その他、外部団体との連携として、「公益財団法人 福島県障がい者スポーツ協会」、「福島県障がい者社会参加推進協議会」の役員も福島県知的障害者福祉協会として会長が受けている。

1. 福島県知的障害者福祉協会	会長	江尻勝巳
	同 副会長	岡崎立郎
	同 同	鈴木繁生
	同 事務局長	大河原光子
	同 事務局員	田中春光
	同 同	増井義仁
	同 同	矢部美咲
2. 福島県知的障害児者生活サポート協会	理事長	岡崎立郎
	同 副理事長	鈴木繁生
	同 同	江尻勝巳
3. 東北地区知的障害者福祉協会	常任理事	江尻勝巳
	同 理事（児童発達支援部会）	佐藤元彦
	同 人権倫理委員会委員	小林優子
	同 政策委員会委員長	古川彰彦
	同 政策委員会委員	金野小百合
	同 研修委員会委員	品川寿仁
4. (公財) 日本知的障害者福祉協会	政策委員会委員	古川彰彦

2 障害者権利条約の理念の基で障害者総合支援法が円滑に施行されるよう県内の意見集約に努め、日本知的障害者福祉協会への提言を行う。

・政策提言等への取り組み

「令和6年度福島県予算編成に対する各団体の要望事項等」に対し会員パブリックコメントを実施し、新規要望事項2件を福島県社会福祉協議会を通して福島県保健福祉部へ提出した。(要望事項及び県回答は別紙参照)

東北地区知的障害者福祉協会理事会において、報酬改定について協議し意見集約をし、日本知的障害者福祉協会へ提言を行った。

3 全国の都道府県協会の先駆的な取り組みとして、加盟全事業所に「人権擁護委員会」が設置され、人権擁護と意思決定支援に基づく利用者支援の展開が図れるよう協力する。

・人権擁護と意思決定支援の取り組み

令和4年度から、全サービス対象に「虐待防止委員会の設置等」「従業者への研修の実施」「虐待防止等の為の責任者の設置」が義務化された。

福島県では人権倫理委員会で作成している「虐待防止自己チェック表」「意思決定支援実例集 Ver.8」「人権擁護委員会設置に関するアンケート」などによりいち早い取り組みがされた。

4 部会毎の研修を充実させることにより、加盟施設・事業所の人材育成に寄与できるよう、部会・委員会活動を支援する。

・研修の取り組み

各部会及び委員会においては、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、集合型の研修を行っている部会もあり、また、zoomなどを利用したweb会議や研修など、各部会・委員会で工夫して活動していただいた。

合同研修会については早くにお伝えした通り、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したものの対象者が高齢者および本人参加型であるため、感染リスクは拭えないとし、中止とさせていただいた。

5 福島県社会福祉協議会、障がい児者福祉施設協議会との協力を密にする。

・福島県が実施する「障がい児者福祉施設等への応援職員派遣支援事業」への連携協力  
福島県社会福祉協議会 障がい児者福祉施設協議会が主となる体制で、障がい児者施設等でクラスターが発生した場合の応援職員派遣事業へ県協会として連携協力体制を整えた。

6 福島県との情報交換を密にし、県が主催する各行事に協力する。

福島県障がい者施策推進協議会条例に基づき、福島県障がい者施策推進協議会の委員として岡崎立郎副会長が参画して、「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」及び「福島県手話言語条例」に基づく取り組み状況、「第5次福島県障がい者計画」の実施状況について精査検討しました。

7 日本知的障害者福祉協会や東北地区知的障害者福祉協会が主催する各種会議や研修会等への協力を行う。

・第10回全国障がい福祉ふれあい作文コンクールの取り組み

従来の福島県教育庁からの周知協力に加えて、会員施設・事業所へも近隣の小・中学校への案内周知を依頼した、今回は26作品の応募と少なかったが、9月22日に正副会長と事務局にて選定会議を開催し日本知的障害者福祉協会へ提出する作品の選定作業を実施した。

本年度は須賀川市立大東中学校2年生の小林裕衣さんが中学生の部で厚生労働大臣賞を受賞、令和6年3月14日に表彰式を行った。

8 組織強化と加盟促進並びに人材確保を図るために、県協会ホームページを活用する。

・広報の取り組み

協会ホームページにより、会員施設及び協会の広報活動を実施。

今年度は年度当初より会員数が3減り111施設・事業所として活動している。

9 相談支援部会の発足を円滑に進める。

会員事業所に対し併設等の相談支援事業所の加入促進の取り組みを行った。相談支援事業所加盟は福島県協会の会費徴収なしで組織化する計画であるが、2事業所のみでの加盟状況に変わりなく、会員に対して更なる加盟協力を仰ぎたい。

10 全国知的障害福祉関係職員研究大会（令和7年度福島大会）開催に向け、実行委員会を組織し準備を進める。

・実行委員会の開催および視察研修

2年後に開催が予定されている上記大会について、開催準備に伴い第1回実行委員会を9月12日に開催した。11月25日～27日に本年度開催県の山梨県へ視察研修を行い、開催に係る方法や資料などの共有をした。現在、各部会・委員会において分科会の内容検討を行っている。

現在、次回開催県である福井県からは震災の影響はなく予定通り開催するとの報告を受けている。

自県開催については名鉄観光様との打ち合わせを重ね、会場やホテルなどの予約が進められている。

11 新型コロナウイルスが第5類に分類された後も、感染症の予防対策・感染防止の徹底を図るように促すと共に、感染状況によっては事業所間の連携を図り、出来る範囲で協力と応援体制が組めるように努める。

令和2年5月1日付で、「福島県知的障害者福祉協会会員施設等における新型コロナウイルス集団感染発生時の対応について」として、当協会会員の施設等でクラスターが発生した場合の後方支援協力体制を構築した。現時点で会員施設内での感染及びクラスターが発生したという事例はあるものの、支援の要請は無く、会員施設事業所所属の法人内で協力体制を作って解決していると報告を受けている。



## 12 その他

- ・国、地方自治体等が提唱する「新しい生活様式」の取り組みについて  
新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取り組みとして、県協会としてはどのように「新しい生活様式」を取り入れて行くかと検討した結果、総会等の会議や研修の新たな開催方法として、zoomによるweb開催も可とし、会議や研修を開催した。現在は第5類に移行したことにより、感染が表面上分りにくくなっているものの、周囲の感染状況を確認しながら、集合型での会議開催などを行っていく。
- ・事務局体制に伴う会長決済と打合せ  
今年度においても会長決済及び打ち合わせについては、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したが、会計処理、收受・発遣文書の会長決済と協会運営のための事務局打合せを2～3ヶ月に1度とし、緊急性がある場合にはその都度の電話や電子メールにて対応した。
- ・本年度において発生した福島県けやき荘における虐待事案について聞き取り調査をした。
- ・本年1月1日に発生した能登半島地震においては、各事業所からの寄付および福島県知的障害者福祉協会義援金会計からの寄付を行った。

# 令和5年度 収支計算書（一般会計）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

## 【収入の部】

（単位：円）

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
会費収入	6,499,700	6,600,000	△ 100,300	
日本知的障害者福祉協会会費	3,640,500	3,710,000	△ 69,500	114施設・事業所
東北地区知的障害者福祉協会会費	557,100	560,000	△ 2,900	114施設・事業所
福島県知的障害者福祉協会会費	2,302,100	2,330,000	△ 27,900	114施設・事業所
委託費収入	2,000,000	2,000,000	0	サポート協会
助成金収入	717,195	690,000	27,195	
日本知的障害者福祉協会助成金	117,195	90,000	27,195	
研究助成金	600,000	600,000	0	サポート協会
会計単位間繰入金収入	0	0	0	
義援金会計繰入金収入	0	0	0	
雑収入	1,786,390	1,000,000	786,390	
雑収入	1,786,271	1,000,000	786,271	各部会・委員会戻入金 AIG損保集金事務費
預金利息収入	119	0	119	
前期繰越金	11,583,768	11,583,768	0	
<b>【収入合計】</b>	<b>22,587,053</b>	<b>21,873,768</b>	<b>713,285</b>	

## 【支出の部】

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
事務費支出	3,132,205	3,430,000	△ 297,795	
事務委託費	2,750,000	2,750,000	0	会長所属法人 75万円 事務局所属法人200万円
消耗品費	335,355	550,000	△ 214,645	ノートパソコン購入
通信運搬費	44,086	100,000	△ 55,914	
雑費	2,764	30,000	△ 27,236	
事業費	2,375,854	3,080,000	△ 704,146	
会議費	71,414	550,000	△ 478,586	web会議ライセンス料
旅費	1,024,120	1,200,000	△ 175,880	理事会、総会、施設長・管理者等連絡協議会、 全国知的障害福祉関係職員研究大会視察
研究調査費	1,270,000	1,270,000	0	部会・委員会活動費
広報費	10,320	30,000	△ 19,680	ホームページ利用料
慶弔費	0	30,000	△ 30,000	
会計単位間繰入金支出	0	100,000	△ 100,000	
合同研修会会計繰入金支出	0	100,000	△ 100,000	合同研修会中止
会員費支出	4,197,600	4,270,000	△ 72,400	
日本知的障害者福祉協会会費	3,640,500	3,710,000	△ 69,500	
東北地区知的障害者福祉協会会費	557,100	560,000	△ 2,900	
予備費(次期繰越金)	12,881,394	10,993,768	1,887,626	
<b>【支出合計】</b>	<b>22,587,053</b>	<b>21,873,768</b>	<b>713,285</b>	

# 財 産 目 録

令和6年3月31日

福島県知的障害者福祉協会(一般会計)

(単位:円)

資産・負債の内訳	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
普通預金(東邦銀行 平西支店884152)	12,881,474
小口現金	0
流動資産合計	12,881,474
資産合計	12,881,474
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	
支援スタッフ部会旅費立替金	80
流動負債合計	80
負債合計	80
差引純資産	12,881,394

## 令和5年度 収支計算書（合同研修会会計）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

### 【収入の部】

（単位：円）

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
参加費収入	0	3,757,000	△ 3,757,000	
参加費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
宿泊費（懇親会含）	0	2,660,000	△ 2,660,000	
懇親会費	0	97,000	△ 97,000	
福島県サポート協会助成金	0	500,000	△ 500,000	
会計単位間繰入金収入	0	100,000	△ 100,000	
一般会計繰入金収入	0	100,000	△ 100,000	
義援金会計繰入金収入	0	0	0	
雑収入	24	0	24	
預金利息収入	24	0	24	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	2,542,255	2,542,255	0	
<b>【収入合計】</b>	<b>2,542,279</b>	<b>6,899,255</b>	<b>△ 4,356,976</b>	

### 【支出の部】

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
事務費・事業費	0	4,157,000	△ 4,157,000	
会場経費	0	2,757,000	△ 2,757,000	
講師等謝礼	0	300,000	△ 300,000	
印刷製本費	0	300,000	△ 300,000	
旅費	0	200,000	△ 200,000	
事務局経費	0	600,000	△ 600,000	
予備費（次期繰越金）	2,542,279	2,742,255	△ 199,976	
<b>【支出合計】</b>	<b>2,542,279</b>	<b>6,899,255</b>	<b>△ 4,356,976</b>	

# 財 産 目 録

令和6年3月31日

福島県知的障害者福祉協会(合同研修会会計)

(単位:円)

資産・負債の内訳	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
普通預金(東邦銀行 平西支店884136)	2,542,279
流動資産合計	2,542,279
資産合計	2,542,279
II 負債の部	
1 流動負債	0
流動負債合計	0
負債合計	0
差引純資産	2,542,279

## 令和5年度 収支計算書（義援金会計）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

### 【収入の部】

（単位：円）

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
義援金収入	2,585,861	0	2,585,861	能登半島地震災害義援金 (各法人、施設・事業所等からの義援金)
雑収入	21	0	21	
雑収入	0	0	0	
預金利息収入	21	0	21	
前期繰越金	2,368,519	2,368,519	0	
<b>【収入合計】</b>	<b>4,954,401</b>	<b>2,368,519</b>	<b>2,585,882</b>	

### 【支出の部】

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
会計単位間繰入金支出	0	0	0	
一般会計繰入金支出	0	0	0	
合同研修会会計繰入金支出	0	0	0	
事務費支出	4,620	0	4,620	
通信運搬費	4,620	0	4,620	
義援金支出	4,645,861	0	4,645,861	令和5年福島県台風13号の被害に伴う見舞金（3施設・事業所へ一律2万円） 能登半島地震災害義援金として ①福島県協会義援金会計より 2,000,000円 ②各法人、施設・事業所等より 2,585,861円 計 4,585,861円を日本協会経由で北陸地区知的障害者福祉協会へ送金
予備費(次期繰越金)	303,920	2,368,519	△ 2,064,599	
<b>【支出合計】</b>	<b>4,954,401</b>	<b>2,368,519</b>	<b>2,585,882</b>	

# 財 産 目 録

令和6年3月31日

福島県知的障害者福祉協会(義援金会計)

(単位:円)

資産・負債の内訳	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
普通預金(東邦銀行 会津アピオ支店84018)	303,920
流動資産合計	303,920
資産合計	303,920
II 負債の部	
1 流動負債	0
流動負債合計	0
負債合計	0
差引純資産	303,920

## 令和5年度福島県知的障害者福祉協会 児童発達支援部会活動報告

### 活動計画について

#### 【入所系】

- 1) 障害児入所施設における加齢児の地域移行についての取り組みについて。
  - ・障がい児入所施設における加齢児の地域移行への取り組みについては部会としての活動には至りませんでした。

現状としては8月3日に県の移行調整会議が開催され、いろいろと意見は出されましたが具体案はなく、児童家庭課が成人の入所施設を訪問してお願いをするという話もありましたが実際はメールでのお願いに留まっている状況です。

各圏域の連絡会等でも話題に上がっており、独自のフローチャートの作成がされたりしているところもあり、個別の検討会も開催されましたが、見通しの持てる具体案はなく最終的に児童施設でのショートステイを利用しながら移行調整を進めていくと言う状況になっています。

#### 【通所系】

- 1) 放課後等デイサービスガイドライン、児童発達支援ガイドラインに沿った運営、支援の質の向上、自己評価から見えた課題や改善策など、障害児支援の在り方について考える。
  - ・各事業所での人員不足や職員のスキルアップ等課題はありますが、今年度は職員配置基準について、報酬単価にも関わる事なので大きな話題であったかと感じております。特に放課後等デイサービスの事業所が増えている事もあり、年々厳しくなっている状況にあります。今後、そういった制度の理解について分かり易く解説して頂けるような機会も設けられたれと思います。

#### 【共通】

- 1) 研修会の開催について
  - ① 日時：令和5年11月22日（水） 13:30～15:30
  - ② 場所：たまかわ文化体育館
  - ③ 講師：近藤美智子氏
  - ④ 参加者：40名
  - ・昨年までコロナ渦の為、開催が難しかった状況で4年ぶりに研修会を開催しました。当事者のピアノ演奏（癒しの瞬間）・メッセージ（コロナ渦の中亡くなってしまったM君からのメッセージ）・パワーチャージ（近藤美智子先生から）…  
講師の近藤先生にも癒されましたと言うお言葉を頂き研修会を終える事が出来ました。  
感染症の状況はありますが今後についても研修会については積極的に取り組んで参りたいと思います。



令和5年度 福島県知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 収支決算報告書

○収入の部

令和5年4月1日～令和6年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入				
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	550	10,000	△ 9,450	
通信費	550	5,000	△ 4,450	振込手数料
消耗品費	0	5,000	△ 5,000	
事業費		90,000	△ 8,340	
会議費	75,000	60,000	15,000	講師謝礼
雑費	6,660	30,000	△ 29,450	暖房費
助成金戻入	17,790	0	17,790	
予備費	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

## 令和5年度 障害者支援施設部会活動報告

### 1. 部会活動

#### (1) 福島県の部会活動

- ① 9月12日(火)、「令和5年度 第1回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会) 実行委員会」(Zoom)開催。
- ② 9月29日(金)、令和7年度開催 「全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会)」に係る分科会テーマ及び講師の選定に関する依頼文書を部会加盟施設へメール送信。
- ③ 10月20日(金)に「施設見学及び情報交換会」を開催。
  - 施設見学：社会福祉法人 友愛会 光洋愛成園
  - 施設概要説明・情報交換会：広野町公民館
  - 参加者：8施設13名
- ④ 児童発達支援部会主催の研修会(11月22日開催)に共催として参加。
- ⑤ 3月7日・8日に参加してきた「令和5年度日本知的障害者福祉協会 部会協議会」の参加報告書を3月13日、部会員施設にメール送信。

#### (2) 東北地区部会報告

- ① 「令和5年度 東北地区知的障害者福祉協会 定期総会・施設長等連絡会・部会協議会」が令和5年6月19日(月)～20日(火) 青森県の「ホテル青森」で開催された。

#### (3) 全国部会活動

- ① 第11回障害者支援施設部会全国大会 九州地区沖縄大会が1月18(木)、19(金)、沖縄県パシフィックホテル沖縄で開催、参加者314名。予定を上回り断らせていただいたとのこと。集合研修で開催された。  
テーマ：「語やびら」～“どうするか”を語ると、“どうなるか”が見えてくる～  
「行政説明なし」「ワールドカフェ方式」等ユニークな大会だったそうです。  
次年度は「広島県」で開催。

### 2. 総括

#### (1) 部会活動

##### 【福島県】

- ① 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら10月20日に「研修会・情報交換会」を実施できました。  
4年ぶりに集合しての開催ができ、ホッとしています。少人数ではありましたが、顔が見える状況で施設見学や現在、各施設の抱えている問題点や質問について話し合うことが出来き、有意義でした。

令和5年度 福島県知的障害者福祉協会 障害者支援施設部会 収支決算報告書

○収入の部 令和5年4月1日～令和6年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	24,540	0	24,540	
雑収入	24,540	0	24,540	全国部会協議会・地方部会日当
前期繰越金	0	0	0	
合 計	124,540	100,000	24,540	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	4,666	40,000	△35,884	
部会運営費	0	20,000	△20,000	
通信費	4,666	10,000	△5,884	文書送交代
消耗品	0	10,000	△10,000	
予備費	0	0	0	
	32,263	50,000	△17,737	
事業費	0	40,000	△40,000	
雑費	7,723	10,000	△2,277	見学先謝礼
旅費	24,540	0	24,540	旅費、日当
予備費	0	10,000	△10,000	
助成金戻入	87,611	0	88,161	
合 計	124,540	100,000	24,540	

## 令和5年度日中活動支援部会事業報告

部会長 小沼貴久

### 1. 令和5年度事業計画に伴う報告

#### ① 職員研修

令和5年8月4日(金) 13:00～16:00

オンラインセミナー

テーマ：障がい者の日中活動サービスの支援の在り方について

～生活介護の多様な障害や高齢・重度化への対応等についての実践～

講師：独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

総務企画局企画部事業企画課長 清水清康 氏

生活支援部生活支援課ひなげし寮 伊豆山暢子 氏

地域生活部地域支援課地域生活支援係 伊藤省吾 氏

参加事業所：22事業所(28事業所中)

参加人数：33名

※受講アンケートを実施し、参加者より国立のぞみの園での支援の実態やより実践的な支援方法の例などを知ることができ、現場で実践したい等の意見も多く聞かれ、より有意義な研修となりましたとの声を多く寄せられた。

#### ② 視察研修会

新型コロナ及びインフル感染拡大の影響のため、中止とする。

### 2. 日中活動支援部会各地区(全国・東北等)活動

①令和5年7月13・14日 全国知的障害関係施設長等会議が対面及びオンデマンド配信で開催。

②令和5年9月12日 令和5年度第1回全国障害者福祉関係職員研究大会(福島大会)実行委員会(zoom)開催

③令和5年11月16・17日 全国知的障害福祉関係研究大会(山梨大会)が対面及びzoomにて開催。

④令和5年12月7・8日 日中活動支援部会全国大会が対面集合型にて開催。  
テーマ「その人らしい暮らしの実現に向けた社会参加」  
～日中活動支援と居住支援の実際的連携～

令和5年度 福島県知的障害者福祉協会 日中活動支援部会 収支決算報告書

○収入の部

令和5年4月1日～令和6年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	5,200	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	105,200	100,000	0	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	20,330	50,000	△29,670	
消耗品費	0	25,000	△25,000	
渉外費	18,900	20,000	△1,100	講師謝礼
雑費	1,430	5,000	△3,570	振込手数料(1430円)
事業費	5,200	45,000	△39,800	
会議費	0	30,000	△30,000	
賃借料	0	10,000	△10,000	
雑費	0	5,000	△5,000	
旅費	5,200	0	5,200	
予備費	0	5,000		
助成金戻入	79,670	0	79,670	
次年度繰越金	0	0	0	
合 計	105,200	100,000	5,200	

# 令和5年度 地域支援部会 活動報告

地域支援部会  
部会長 小川 弘一

## 1. 地域支援部会研修会について

本年度、四半期に予定していた地域支援部会職員研修会の開催について役員で協議をしたが、新型コロナウイルスとインフルエンザの感染が拡大している状況を受け、参加者及び関係者の健康・安全面を第一に考慮し、本年度も昨年度に続きやむを得ず中止とした。

## 2. 令和5年度部会協議会報告

令和6年3月7日（木）8日（金）TOC有明コンベンションホール 320人参加  
行政説明「令和6年度障害者福祉サービス等報酬改定について」

主な改定内容

- ①令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の改定率：+1.12%（改定率の外枠で処遇改善加算の一本化の効果等があり、それを合わせれば+1.5%を上回る水準）
- ②今般新たに追加措置する処遇改善分を活用し、障害福祉の現場で働く方々にとって、令和6年度に2.5%、令和7年度に2.0%のベースアップへと確実につながるよう配分方法の工夫を行う。
- ③2月6日に報酬改定案のとりまとめ、パブコメを実施した上で、3月下旬に報酬告示の改正、関係通知の発出、原則として令和6年4月1日に施行。
- ④地域生活拠点等において情報連携等を担うコーディネーターの配置を評価する加算を創設。（地域生活支援拠点等機能強化加算【新設】500単位/月）
- ⑤感染発生時に備えた医療機関との連携強化（施設等）  
（障害者支援施設等感染対策向上加算（I）【新設】10単位/月等）
- ⑥障害者虐待防止措置や身体拘束の適正化等、必要な基準を満たしていない場合の減算数の導入・見直し（全サービス共通）  
（虐待防止措置未実施減算【新設】所定単位数の1%減算等）

- ⑦施設系・居住支援系サービス（施設入所支援・共同生活援助・自立生活援助）
- ・施設のすべての入所者に対して地域移行の意向を確認。グループホームの見学、地域活動への参加等を評価  
（意向確認に関する指針未作成の場合減算 5 単位/日、地域移行促進加算（Ⅱ）【新設】60 単位/日等）
  - ・施設における10人規模の利用定員の設定  
（基本報酬で対応。生活介護も同様の対応）
  - ・施設から地域へ移行し、入所定員を減らした場合の加算を創設  
（地域移行支援体制加算【新設】）
  - ・グループホームから希望する一人暮らし等に向けた支援の評価  
（自立生活支援加算（Ⅰ）【新設】1000 単位/月等）
  - ・世話人の配置基準に応じた基本報酬区分を改め、サービス提供時間の実態に応じて加算する報酬体系へ見直し  
（グループホームの基本報酬の見直し）
  - ・グループホーム等において地域連携推進会議を設置し、地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れる取組を義務付け  
（運営基準に規定。ただし、令和6年度は努力義務とし、令和7年度から義務化）

令和5年度 福島県知的障害者福祉協会 地域支援部会 収支決算報告書

○収入の部

令和5年4月1日～令和6年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	25,040	0	25,040	
雑収入	25,040	0	25,040	部会協議会旅費、日当等
前期繰越金				
合 計	125,040	100,000	25,040	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事業費	25,040	90,000	△64,960	
会議費	0	65,000	△65,000	
雑費	0	20,000	△20,000	
賃貸料	0	5,000	△5,000	
旅費	25,040	0	25,040	部会協議会旅費、日当等
事務費	550	10,000	△9,450	
消耗品(務)	550	10,000	△9,450	送金手数料
助成金戻入	99,450	0	99,450	
次年度繰越金				
合 計	125,040	100,000	25,040	



# 令和5年度 生産活動・就労支援部会活動報告

生産活動・就労支援部会

## 1 部会活動

### (1) 福島県の部会活動

令和7年度全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）第1回実行委員打ち合わせ会

期日：令和5年9月12日（火）

開催方法：オンライン（ズーム）

その他、施設長会議等の各種会議に参加

### (2) 東北地区部会報告

令和5年度 東北フォーラム2023inみやぎ

期日：令和5年11月30日（木）・12月1日（金）

開催地：仙台市

内容：数年ぶりに対面で開催され、物産展及び販売会に県内事業所が出展し好評を得た。

### (3) 全国部会活動報告

① 令和5年度 全国生産活動・就労支援部会職員研修会

期日：令和6年2月22日（木）

開催地：オンデマンド

② 令和5年度 部会協議会及び全国支援スタッフ委員会代表者会議

期日：令和6年3月7日（木）・8日（金）

開催地：TOC 有明コンベンションホール

内容：対面による会議が開催され参加した。会議が令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定の直前での開催だったため、改定内容の説明等が会議の中心となった。日頃は利用者に対する支援対応に時間を費やしている中で、サービス費等に考えが及んでいなかったことを改めて考えさせられた。また、国も色々現場の声を聞き、施策に反映させようとしていると感じた有意義な会議であった。

## 2 活動近況

① 第1回 生産活動・就労支援部会

期日：令和5年10月20日（金）

開催方法：オンライン（ズーム）

① 第2回 生産活動・就労支援部会

期日：令和5年11月22日（水）

開催方法：オンライン（ズーム）

内容：令和7年度に福島県で開催される「全国知的障害福祉関係職員研究大会」に係る分科会のテーマや講師等候補者の選考等を行った。

令和5年度 福島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会 収支決算報告書

○収入の部

令和5年4月1日～令和6年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
部会助成金	100,000	100,000	0	協会助成金
事業費	22,440	0	22,440	
部会協議会 並び に全国支援スタッフ 委員会助成金	22,440	0	22,440	
	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	122,440	100,000	22,440	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事業費	56,537	90,000	△ 33,463	
会議・研修費	0	90,000	△ 90,000	
東北フォーラム助 成	20,017	0	20,017	宿泊費及び交通費等
全国生産活動・就 労支援部会職員研 修会	14,080	0	14,080	参加登録料
部会協議会 並び に全国支援スタッフ 委員会	22,440	0	22,440	交通費及び日当
		0	0	
事務費	440	10,000	△ 9,560	
雑費	0	9,560	△ 9,560	
振込手数料	440	440	0	協会戻入振込手数料
予備費	0	0	0	
助成金戻入	65,463	0	65,463	
次年度繰越金	0	0	0	
合 計	122,440	100,000	22,440	

令和5年度 支援スタッフ部会 年間活動報告 (3月20日現在)

【会議内容】

事業名	開催年月	内容	開催場所
第1回 支援スタッフ部会 役員会	4月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度役員から新役員への引継ぎ</li> <li>・令和4年度 事業報告及び収支決算報告</li> <li>・令和5年度 事業計画・予算確認</li> <li>・新年度役員顔合わせ</li> </ul>	福島県矢吹しらうめ荘
令和5年度 支援スタッフ部会 総会	コロナの影響にて 未開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度活動報告及び収支決算</li> <li>・令和5年度活動計画・予算</li> <li>・スタッフ部会の名簿作成</li> <li>・東北フォーラムについて</li> </ul>	書面にて報告
第2回 支援スタッフ部会 役員会	7月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北フォーラムについて (進捗確認)</li> <li>・役員の集会等に係わる予算算出について</li> </ul>	web 開催
第3回 支援スタッフ部会 役員会	10月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北フォーラムについて (進捗確認)</li> <li>・令和7年度「全国知的障害福祉関係職員研究大会」 について (情報共有)</li> <li>・各地区の活動について</li> </ul>	web 開催
第4回 支援スタッフ部会 役員会	11月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北フォーラムについて (最終確認)</li> <li>・行動支援計画スキル学習会について</li> <li>・各地区の活動状況について</li> </ul>	web 開催
東北フォーラム 2023in 宮城	11月30日 ～12月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北フォーラム全体会/分科会</li> <li>・研修、懇親会</li> </ul>	宮城県仙台市 TKP ガーデンシティ仙台
第5回 支援スタッフ部会 役員会	12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動支援計画スキル学習会について (進捗確認)</li> <li>・各地区の活動について (進捗確認)</li> <li>・令和7年度「全国知的障害福祉関係職員研修大会」 について (情報共有)</li> <li>・行動支援計画スキル学習会について (最終確認)</li> <li>・支援スタッフ部会規則について</li> </ul>	Web 開催
行動支援計画 スキル学習会 (研 修)	2月29日(木)	<p>講師 社会福祉法人 つばさ福社会 生活介護事業所 おおぞらの夢 管理者 松原篤史様</p> <p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動支援計画書の記入方法について</li> <li>・行動支援・強度行動障害の方の対応について</li> </ul>	Web 開催
第6回 支援スタッフ部会 役員会	2月29日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度活動報告・収支決算について</li> <li>・令和6年度活動計画・予算(案)について</li> <li>・支援スタッフ部会規則について</li> </ul>	福島県社会福祉事業団 福島県矢吹しらうめ荘
第7回 支援スタッフ部会 役員会	3月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度活動報告・収支決算について</li> <li>・令和6年度活動計画・予算(案)について</li> <li>・支援スタッフ部会規則について</li> </ul>	Web 開催

【各地区の事業計画】

○県北地区／施設・事業所数:11箇所、委員数:11名

日程	活動内容	参加委員数
・7月 ・11月30日 ～12月1日	・スタッフ部会の名簿作成。東北フォーラム県発表用の写真の収集 ・東北フォーラム	

○郡山地区／施設・事業所数:6箇所、委員数:6名

日程	活動内容	参加委員数
・7月 ・11月30日 ～12月1日	・スタッフ部会の名簿作成。東北フォーラム県発表用の写真の収集 ・東北フォーラム	

○県中地区／施設・事業所数6箇所、委員数:6名

日程	活動内容	参加委員数
・7月 ・11月15日 ・11月30日 ～12月1日 ・1月30日	・スタッフ部会の名簿作成。東北フォーラム県発表用の写真の収集 ・第一回会議（集合開催） ・東北フォーラム ・第一回施設見学会（須賀川共労育成園）	6事業所6名

○県南地区／施設・事業所数:11箇所、委員数:11名

日程	活動内容	参加委員数
・7月 ・11月30日 ～12月1日 ・1月26日	・スタッフ部会の名簿作成。東北フォーラム県発表用の写真の収集 ・東北フォーラム ・第一回会議（ズーム開催）	6事業所6名

○会津地区／施設・事業所数:5箇所、委員数:6名

日程	活動内容	参加委員数
・6月 ・6月29日 ・8月9日 ・11月30日 ～12月1日	・スタッフ部会の名簿作成。東北フォーラム県発表用の写真の収集 ・第一回会議、施設見学（ふくしの家） ・第二回会議、施設見学（りんどうの家） ・東北フォーラム	5事業所6名

○いわき・相馬双地区／施設・事業所数:14箇所、委員数:15名

日程	活動内容	参加委員数
・6月 ・11月30日 ～12月1日	・スタッフ部会の名簿作成。東北フォーラム県発表用の写真の収集 ・東北フォーラム	

以上、報告致します。

令和5年度 福島県知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会 収支決算報告書

○収入の部

令和5年4月1日～令和6年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	470,000	470,000	0	
本部助成金	470,000	470,000	0	
雑収入	2	0	2	
雑収入	0	0	0	
預金利息収入	2	0	2	利息
前期繰越金	0	0	0	
合 計	470,002	470,000	2	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	148,778	280,000	△ 131,222	
事務費	0	0	0	
消耗品費	0	30,000	△ 30,000	
通信運搬費	990	0	990	戻入金手数料、振込手数料
旅費	146,200	200,000	△ 53,800	日当、旅費、講師料
雑費	1,588	50,000	△ 48,412	お茶、昼食代
事業費	1,703	190,000	△ 188,297	
会議費	0	0	0	各地区会議費
研究調査費	1,703	190,000	△ 188,297	各地区活動費
予備費	0	0	0	
助成金戻入	319,521	0	319,521	旅費立替払80円を精算せずに戻入
合 計	470,002	470,000	2	

令和5年度研究調査費(内訳)

	使用した金額	予 算	差 額
県北	0	30,000	△ 30,000
郡山	0	30,000	△ 30,000
県中	1,703	40,000	△ 38,297
県南	0	20,000	△ 20,000
会津	0	25,000	△ 25,000
いわき	0	45,000	△ 45,000
計	1,703	190,000	△ 188,297

## 令和5年度 人権・倫理委員会活動報告書

委員長 小林 優子

### 1. 人権倫理委員会 開催

各行事ごとに、メールにて確認。

### 2. 虐待防止自己チェック表 Ver. 6 の実施

各事業所での実施 期間 令和5年11月20日から12月8日 まで

提出期限 令和6年 1月10日

回答事業所 57事業所 50%

- ・日々の振り返りに活用。
- ・不具合に関しては、バージョンをアップしていただいている。

### 3. 意思決定支援実例集

- ・実例集の取り組みを一旦停止させて頂きました。
- ・実例集の発行の取り組みは、実に8年に及び、当初の目的である「意思決定支援に関して理解」が深まったと感じています。

さらに皆様のご協力により、様々な支援実例が集まりました。

今後は、この膨大な数の実例を、今後の支援にどう生かしていくかについて考えることが必要なのではないかと考えます。

ここで一旦立ち止まり、実例を読み返し、話し合いの資料として利用いただき、支援の質の向上に役立てていただければ幸いです。

### 4. 人権・倫理委員会研修会

日 時 令和6年2月20日

講 義 「意思決定支援の取り組み・合理的配慮」

講 師 社会福祉法人 育成会 常務理事 古川敬 氏

参加者 44名

※集合形式にて、意思決定支援GVC（グループスーパービジョン）を行う予定であったが、コロナ感染症及びその他の感染症拡大により、オンライン研修に変更し、実施しました。

### 5. 東北地区知的障害者福祉協会 人権・倫理委員会

第1回 令和5年8月10日 オンライン 研修会について

第2回 合同研修会 令和5年12月26日

虐待防止アンケートについて 58.8%の回答を頂きました。

第3回 合同研修会 令和5年12月18日 事業報告 計画について

アンケート・研修会参加へのご協力ありがとうございました。

今後ともご協力お願いいたします。御礼申し上げます。

令和5年度 福島県知的障害者福祉協会（人権倫理委員会）収支決算報告書

○収入の部

令和5年4月1日～令和6年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	300,000	300,000	0	
本部助成金	300,000	300,000	0	
雑収入	2	0	2	
雑収入	2	0	2	預金利子
	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	300,002	300,000	2	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	3,210	130,000	△ 126,790	
消耗品費	0	40,000	△ 40,000	
通信運搬費	3,210	5,000	△ 1,790	・送金手数料@550*4 ・資料送付宅急便代 @1,010
旅費	0	80,000	△ 80,000	
雑費	0	5,000	△ 5,000	
			0	
事業費	39,260	120,000	△ 80,740	
会議費	0	20,000	△ 20,000	
研究調査費	39,260	100,000	△ 60,740	・研修会資料代 @100*50部 ・講師謝礼 ・研修会資料送付代
予備費	0	50,000	△ 50,000	
助成金戻入	257,532	0	257,532	
合 計	300,002	300,000	△ 257,530	

## 令和5年度 政策委員会 事業報告

政策委員長 金野小百合

### 1 政策に関する事業報告

- (1) 父の夢古川施設長が日本知的障害者福祉協会政策委員、及び東北地区知的障害者福祉協会政策委員長として参画。
- (2) 令和5年度東北地区知的障害者福祉協会合同委員会に出席
  - ・第1回合同委員会(5月24日):令和4年度の活動報告として「障害者総合支援法改正法施行後3年の見直し」、「令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について」協会本部と協議した内容の報告と令和5年度の事業活動の内容について協議を行った。
  - ・第2回合同委員会(12月26日):古川施設長より政策委員会の中間報告として、報酬改定についてのポイントの説明が行われ、事務局を通して会員施設に資料等を発信していただき情報共有を図った。
  - ・第3回合同委員会(3月18日):厚生労働省との意見交換のための東北6県の令和6年度障害者福祉サービス報酬改定の概要についての意見や質問等(2/15実施)を集約したものについて意見交換を行い、引き続き検討の実施をお願いする。また、令和6年度の活動計画の内容について協議を行った。
- (3) 「2024年度福島県予算編成に対する各団体の要望事項等」に対し会員パブリックコメントをもとに要望書の提出を行った。
- (4) 「福島県障がい者施策推進協議会」へ岡崎副会長が参画。



# 令和5年度 研修委員会(事業報告)

福島県知的障害者福祉協会

研修委員長 品川寿仁

## 1. 研修に関する事業報告

### (1)令和5年度福島県知的障害者福祉協会 合同研修会について

・新型コロナウイルス感染症等の状況を鑑み、開催中止(8月16日付文書にて通知)

### (2)各部会・委員会ごとの研修会

・各部会、委員会の報告のとおり

## 2. 東北地区知的障害者福祉協会

### (1)研修委員会 会議

第1回 研修委員会 第1回合同委員会	5月24日(水)	仙台市
第2回 研修委員会	7月4日(火)	仙台市
第3回 研修委員会	8月4日(金)	オンライン開催
第4回 研修委員会	9月19日(火)	仙台市
第5回 研修委員会 第2回合同委員会	12月26日(火)	仙台市
第6回 研修委員会 第3回合同委員会	3月18日(月)	仙台市

### (2)令和5年度東北地区知的障害者福祉協会専門研修会

令和5年9月14日(木)～15日(金) 山形県山形市 山形グランドホテル

講師: 東北福祉大学社会福祉学科准教授 竹ノ内章代 氏

テーマ: 「個別支援計画作成におけるアセスメントの重要性」

参加者総数 146名

「個別支援計画と意思決定支援」をテーマに、アセスメント、計画作成と支援のあり方、モニタリングと再計画について段階的に開催。対面による参加者同士のグループワークを通して参加者間の情報交換や振り返りを行って参加者の多くの気づきを深めている。

※福島県協会 会員事業所より5名のファシリテーターを派遣

日中支援部会	いわき福音協会	岡本正志氏
支援施設部会	桜が丘学園	本間裕也氏
生産・就労部会	つばさ福祉会	後藤吉英氏
支援施設部会	陽光会	永井和幸氏 (支援スタッフ部会)
児童支援部会	ほっと福祉記念会	布施 諒氏

※令和 6 年度の専門研修会の開催県が福島のため開催時には研修運営の他、今年度参加したファシリテーター5名の継続参加と福島県協会より10名の派遣が必要。

(3)東北未来塾構想

東北地区知的障害者福祉協会の取組みとして、「次世代人材の育成」を目的に、東北未来塾の開講に向けて準備室を設置。

別紙『東北未来塾開講に向けた進め方について』の活動計画に基づき活動を実施。

未来塾研修計画策定に向けた意見徴収

第1回	ヒアリング会	12月18日(月)	仙台市
	福島県参加者	大萱荘	中塚啓子氏
		甲子の里希望の家	小針秀樹氏
第2回	検討会	3月下旬(調整中)	オンライン会議

(4)令和 7 年度全国知的障害者福祉関係職員研究大会

福島県開催に向けて、実行委員会として準備中

(5)「福島県障がい者施策推進協議会」

江尻会長が参画している。

以上

## 監査報告書

福島県知的障害者福祉協会の令和5年度事業報告並びに収支決算書について、令和6年4月19日午前9時00分より太陽の国管理センター4階大会議室において、関係諸帳簿等を精査した結果、事業が適正に施行され、公正妥当な会計処理がなされていた事を認めましたので、ここに御報告申し上げます。

令和6年4月19日

監事

深谷 健





## 議 案 2

令和6年度事業計画及び収支予算  
(事務局・部会・委員会)

令和6年度 日本・東北地区・福島県知的障害者福祉協会 活動計画

日本知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所
全国知的障害関係施設長等会議	令和6年7月11日(木)～12日(金)	東京都
日中活動支援部会全国大会	令和7年1月29日(水)～30日(木)	埼玉県
障害者支援施設部会全国大会	令和6年12月19日(木)～20日(金)	広島県
全国知的障害福祉関係職員研究大会	令和6年10月3日(木)～4日(金)	福井県
全国グループホーム等研修会	令和6年9月12日(木)～13日(金)	埼玉県
相談支援・就業支援セミナー	令和6年10月24日(木)～25日(金)	東京都
全国生産活動・就労支援部会職員研修会 /全国障がい福祉物産展	未定	未定
全国会長・事務局長会議	未定	未定
全国児童発達支援施設運営協議会	令和6年11月25日(月)～26日(火)	福岡県
リスクマネジャー養成研修会	令和6年11月27日(水)～29日(金)	東京都
リスクマネジャー養成研修会(上級)	未定	未定
部会協議会及び全国支援スタッフ委員会 代表者会議	令和7年3月6日(木)～7日(金)	東京

東北地区知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所
《研修会・会議等》		
東北地区知的障害者福祉協会施設長・管理者等連絡協議会及び総会	令和6年6月13日(木)～14日(金)	秋田県
東北地区知的障害者福祉協会専門研修会	令和6年9月12日(木)～13日(金)	福島県
東北フォーラム実行委員会	令和6年7月・8月・9月・10月	宮城県
東北フォーラム2024inいわて	令和6年11月19日(木)～20日(金)	岩手県
東北未来塾(仮称)	未定	未定
《役員会等》		
理事会	5月・12月・3月	宮城県
種別部会代表者会議	5月	未定
政策委員会	5月・11月・3月	宮城県
研修委員会	5月・11月・3月	未定
人権倫理委員会	5月・11月・3月	未定
災害対策委員会	未定	未定

福島県知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所
第1回理事会	令和6年4月19日(金)	西郷村
令和6年度障害福祉サービス等報酬改定と地域移行に係る研修会	令和6年4月17日(水)	オンライン
令和6年度福島県知的障害者福祉協会定期総会及び第1回施設長・管理者等連絡協議会	令和6年4月26日(金)	郡山市
第1回正副会長会議	令和6年5月	西郷村
第2回正副会長会議	令和6年10月	西郷村
第11回作文コンクール福島県選抜作品選定	令和6年10月	西郷村
第2回理事会	令和6年12月	西郷村
第2回施設長・管理者等連絡協議会	令和6年12月	郡山市
令和6年度合同研修会実行委員会	令和7年2月	未定
令和6年度福島県知的障害者福祉協会合同研修会	令和7年2月	未定
第3回正副会長会	令和7年3月	西郷村

## 令和6年度 福島県知的障害者福祉協会事業計画（案）

### ○基本方針

- 1 福島県知的障害者福祉協会加盟施設の運営と連携を円滑にし、各部会及び委員会活動を通して施設の利用者支援の健全化や育成を図る。
- 2 施設職員と施設利用者の家族・地域との関わりを深める活動を行う。
- 3 福島県知的障害児者生活サポート協会等、関連する他団体との協力を密にする。
- 4 加盟施設における人権擁護と意思決定支援を柱とした知的障害児者の支援の取り組みを推進する。

### ○活動計画

- 1 日本知的障害者福祉協会及び東北地区知的障害者福祉協会等との連携を密にし、県内施設間での情報交換や組織的活動を活発化する。
- 2 障害者権利条約の理念の基で障害者総合支援法が円滑に施行されるよう県内の意見集約に努め、日本知的障害者福祉協会への提言を行う。
- 3 全国の都道府県協会の先駆的な取り組みとして、加盟全事業所に「人権擁護委員会」が設置され、人権擁護と意思決定支援に基づく利用者支援の展開が図れるよう協力する。
- 4 部会毎の研修を充実させることにより、加盟施設・事業所の人材育成に寄与できるよう、部会・委員会活動を支援する。
- 5 福島県社会福祉協議会、障がい児者福祉施設協議会との協力を密にする。
- 6 福島県との情報交換を密にし、県が主催する各行事に協力する。
- 7 日本知的障害者福祉協会や東北地区知的障害者福祉協会が主催する各種会議や研修会等への協力をを行う。
- 8 組織強化と加盟促進並びに人材確保を図るために、県協会ホームページを活用する。
- 9 相談支援部会の発足を円滑に進める。
- 10 全国知的障害福祉関係職員研究大会（令和7年度福島大会）開催に向け、実行委員会の開催、福井県への視察研修、名鉄観光様等との打ち合わせなど開催について準備を進める。
- 11 感染症の予防対策・感染防止の徹底を図るように促すと共に、感染状況によっては事業所間の連携を図り、出来る範囲で協力と応援体制が組めるように努める。
- 12 その他



# 令和6年度 収支予算書（一般会計）（案）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

## 【収入の部】

（単位：円）

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費収入	6,390,000	6,600,000	△ 210,000	
日本知的障害者福祉協会会費	3,580,000	3,710,000	△ 130,000	110施設・事業所
東北地区知的障害者福祉協会会費	540,000	560,000	△ 20,000	110施設・事業所
福島県知的障害者福祉協会会費	2,270,000	2,330,000	△ 60,000	110施設・事業所
委託費収入	2,000,000	2,000,000	0	サポート協会
助成金収入	1,490,000	690,000	800,000	
日本知的障害者福祉協会助成金	90,000	90,000	0	
研究助成金	1,400,000	600,000	800,000	サポート協会 東北地区知的障害者福祉協会（専門研修会助成金）
会計単位間繰入金収入	0	0	0	
義援金会計繰入金収入	0	0	0	
雑収入	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
雑収入	2,000,000	1,000,000	1,000,000	東北地区専門研修会参加費 AIG損保集金事務費
預金利息収入	0	0	0	
前期繰越金	12,881,394	11,583,768	1,297,626	
<b>【収入合計】</b>	<b>24,761,394</b>	<b>21,873,768</b>	<b>2,887,626</b>	

## 【支出の部】

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
事務費支出	3,180,000	3,430,000	△ 250,000	
事務委託費	2,750,000	2,750,000	0	会長所属法人 75万円 事務局所属法人200万円
消耗品費	300,000	550,000	△ 250,000	
通信運搬費	100,000	100,000	0	
雑費	30,000	30,000	0	
事業費	4,480,000	3,080,000	1,400,000	
会議費	550,000	550,000	0	総会・施設長会議・東北地区専門研修会 Web会議ライセンス料
旅費	2,600,000	1,200,000	1,400,000	東北地区専門研修会 全国知的障害福祉関係職員研究大会視察
研究調査費	1,270,000	1,270,000	0	部会・委員会活動費
広報費	30,000	30,000	0	ホームページ利用料
慶弔費	30,000	30,000	0	
会計単位間繰入金支出	100,000	100,000	0	
合同研修会会計繰入金支出	100,000	100,000	0	
会員費支出	4,120,000	4,270,000	△ 150,000	
日本知的障害者福祉協会会費	3,580,000	3,710,000	△ 130,000	
東北地区知的障害者福祉協会会費	540,000	560,000	△ 20,000	
予備費(次期繰越金)	12,881,394	10,993,768	1,887,626	
<b>【支出合計】</b>	<b>24,761,394</b>	<b>21,873,768</b>	<b>2,887,626</b>	

## 令和6年度 収支予算書（合同研修会会計）（案）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

### 【収入の部】

（単位：円）

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
参加費収入	3,757,000	3,757,000	0	
参加費	1,000,000	1,000,000	0	4,000円×250名
宿泊費（懇親会含）	2,660,000	2,660,000	0	13,300円×200名
懇親会費	97,000	97,000	0	9,700円×10名
福島県サポート協会助成金	500,000	500,000	0	
会計単位間繰入金収入	100,000	100,000	0	
一般会計繰入金収入	100,000	100,000	0	
義援金会計繰入金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
預金利息収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	2,542,279	2,542,255	24	
<b>【収入合計】</b>	<b>6,899,279</b>	<b>6,899,255</b>	<b>24</b>	

### 【支出の部】

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
事務費・事業費	4,157,000	4,157,000	0	
会場経費	2,757,000	2,757,000	0	宿泊200名 懇親会10名
講師等謝礼	300,000	300,000	0	
印刷製本費	300,000	300,000	0	
旅費	200,000	200,000	0	
事務局経費	600,000	600,000	0	
予備費（次期繰越金）	2,742,279	2,742,255	24	
<b>【支出合計】</b>	<b>6,899,279</b>	<b>6,899,255</b>	<b>24</b>	

# 令和6年度 収支予算書（義援金会計）（案）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

## 【収入の部】

（単位：円）

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
義援金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
預金利息収入	0	0	0	
前期繰越金	303,920	2,368,519	△ 2,064,599	
<b>【収入合計】</b>	<b>303,920</b>	<b>2,368,519</b>	<b>△ 2,064,599</b>	

## 【支出の部】

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会計単位間繰入金支出	0	0	0	
一般会計繰入金支出	0	0	0	
合同研修会会計繰入金支出	0	0	0	
事務費支出	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
義援金支出	0	0	0	
予備費(次期繰越金)	303,920	2,368,519	△ 2,064,599	
<b>【支出合計】</b>	<b>303,920</b>	<b>2,368,519</b>	<b>△ 2,064,599</b>	

令和6年度福島県知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 事業計画（案）

活動内容

【入所系】

- ① 障害児入所施設における加齢児の地域移行についての取り組みについて
  - ・各地域の移行調整会議等の状況について
  - ・各施設の利用児数の減少等の状況について
- ② 社会的養育推進計画の策定について（後期 令和7年～11年度）

【通所系】

- ① 放課後等デイサービスガイドライン、児童発達支援ガイドラインに沿った運営、支援の質の向上、自己評価から見えた課題や改善策など、障害児支援の在り方について考える。
- ② これからどうなる児童通所施設について情報共有する。

【共通】

- ① 研修会の開催について
  - ・研修内容についてのアンケート調査（5月）～実施内容について検討し7月実施予定
  - ・各施設の情報共有 ～ 12月

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 予算書(案)

○収入の部 令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入				
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	10,000	10,000	0	
通信費	5,000	5,000	0	
消耗品費	5,000	5,000	0	コピー用紙等
事業費	90,000	90,000	0	
会議費	20,000	60,000	0	会場費、お茶等
雑費	70,000	30,000	0	講師謝礼等
予備費	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

## 令和6年度 障害者支援施設部会活動計画（案）

### 1. 事業内容

- (1) 「人出不足解消」のためのアンケート調査：「AI」「IOT」を使った先進的な取組や外国人労働者雇用等について
  - ① 事前に各施設で聞いてみたい、見てみたい情報についての収集。
  - ② アンケート調査は7月～8月頃を予定。
- (2) 研修会：集合又はオンラインで開催
  - ① テーマ：「人出不足解消のための先進的な取組」について
  - ② 開催時期：9月～11月の間
  - ③ 講師選定
- (3) 令和7年度全国知的障害福祉関係研究大会（福島）についての打ち合わせ  
集合又はオンラインで開催
- (4) その他
  - ① 新着情報の提供
  - ② 施設見学

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 障害者支援施設部会 予算書(案)

○収入の部 令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	40,000	40,000	0	
部会運営費	20,000	20,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
消耗品	10,000	10,000	0	
予備費	0	0	0	
事業費	50,000	50,000	0	
研修費	40,000	40,000	0	
雑費	10,000	10,000	0	
予備費	10,000	10,000	0	
合 計	100,000	100,000	0	

## 令和6年度日中活動支援部会 事業計画（案）

### 1 事業内容

#### ① 職員研修

(1) 支援技術や支援の質向上及び障がい者支援のIoT・AIの活用に向けての研修

(2) 情報・意見交換を行う

- ・ 社会参加、支援困難事例等について情報交換
- ・ 福祉施設職員としての身に着けてほしい事柄の情報交換
- ・ 求人活動の情報交換

※研修の開催時期・方法については役員間の協議の上、決定する。

#### ② 視察研修会

- ・ 県内の先進的活動及び技術(IoT等)を活用している施設見学を実施する。

※研修の開催時期・方法については役員間の協議の上、決定する。

### 2 その他

- ・ 新着情報の提供
- ・ 令和7年度全国知的障害福祉関係研究大会へ向けての準備



令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 日中活動支援部会 予算書(案)

○収入の部 令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	50,000	50,000	0	
消耗品費	25,000	25,000	0	事務用品
渉外費	20,000	20,000	0	講師謝礼
雑費	5,000	5,000	0	振込手数料
事業費	45,000	45,000	0	
会議費	30,000	30,000	0	茶菓子等
賃借料	10,000	10,000	0	研修会場借用費
雑費	5,000	5,000	0	
予備費	5,000	5,000	0	
合 計	100,000	100,000	0	

## 令和6年度 地域支援部会事業計画（案）

地域支援部会

部会長 小川 弘一

### 1. 事業内容

#### ○意見交換会

① GHの現状と課題について

② 研修

③ 施設見学

情報を共有するとともに、さらなる支援の技術・支援の質向上に向けて支援員を対象として開催したい。

※開催時期、開催方法等については役員間で検討していく。

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 地域支援部会 予算書(案)

○収入の部 令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	0		0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事業費	95,000	90,000	5,000	
会議費	50,000	65,000	△15,000	
雑費	10,000	20,000	△10,000	
賃貸料	5,000	5,000	0	
旅費	30,000	0	30,000	
事務費	5,000	10,000	△5,000	
消耗品	5,000	10,000	△5,000	
予備費				
合 計	100,000	100,000	0	

## 令和6年度 生産活動・就労支援部会事業計画（案）

### 1、全国知的障害関係施設長等会議

期日：令和6年7月11日(木)・12日(金)

開催地：東京国際フォーラム

### 2、全国知的障害福祉関係職員研究大会

期日：令和6年10月3日(木)・4日(金)

開催地：福井県

### 3、東北地区施設長等会議

期日：未定

開催地：未定

### 4、全国生産活動・就労支援部会職員研修会

期日：未定

開催地：未定

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会部会 収支予算書(案)

○収入の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	協会助成金
事業費		0	0	
		0	0	
			0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度の予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事業費	90,000	90,000	0	
会議・研修費	90,000	90,000	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事務費	10,000	10,000	0	
雑費	9,560	9,560	0	
振込手数料	440	440	0	協会戻入振込手数料
予備費	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

# 令和6年度 福島県知的障害福祉協会 支援スタッフ部会 事業計画（案）

1. 活動テーマ 「利用者の人権が擁護された支援技術の向上」

## 2. 活動の目的

利用者1人1人にとって必要な権利擁護を常に考え、支援を行なっていけるよう専門的知識を学び、支援技術が向上していく事を目的とする。

## 3. 基本方針

(1) 福島県知的障害福祉協会加入施設の運営と連携を円滑にし、各部会及び調査研究活動を通して施設の健全化や職員の育成を行なっていく。

(2) 施設職員と施設利用者の親・家族・地域との関わりを深める活動を行なう。

(3) 福島県知的障害児者生活サポート協会等、関連する他団体との協力を密にし、知的障害者の生涯にわたる福祉的支援のあり方の検討を行なう。

## 4. 活動計画

(1) 日本知的障害者福祉協会及び東北地区知的障害者福祉協会等の情報を得ながら、県内施設間での情報交換や組織的活動を活発化できるよう活動を行っていく。

(2) 施設利用者の人権擁護管理体制を強化するため、県知的障害福祉協会人権・倫理委員会と協力しながら施設や事業所利用者の人権が擁護された支援の周知を行うとともに、各施設に「人権擁護委員会」が設置されることを目指していく。

(3) 県全体で障害者の権利条約に基づいての勉強会を実施し障害者権利条約の理念を学び支援の中で活かしていけるように学んでいく。

(4) 圏域ごとの支援スタッフ委員会活動を行っていく。

(5) 日本知的障害者福祉協会や東北地区知的障害者福祉協会又は、福島県知的障害福祉協会が主催する各種研究会等への参加を行っていく。

(6) 東北フォーラム開催に関して、福島県主催の場合は事務局運営を行い、他県が主催の場合は福島県より実行委員を選出し、事務局運営に協力する。

活動計画（案）

事業名	開催年月	内容	開催場所
第1回 支援スタッフ部会 役員会	令和6年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 事業報告及び収支決算報告</li> <li>・令和6年度 事業計画（案）・予算（案）</li> <li>・新年度役員顔合わせ</li> <li>・今後の動きについて</li> </ul>	未定
支援スタッフ部会 総会	令和6年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 事業報告及び収支決算報告</li> <li>・令和6年度 事業計画（案）・予算（案）</li> <li>・各地区毎の顔合わせ、話し合い</li> <li>・東北フォーラムについて</li> </ul>	未定
第2回 支援スタッフ部会 役員会	令和6年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度各地区活動について</li> <li>・人権倫理委員会活動報告について</li> <li>・東北フォーラム実行委員会報告について</li> <li>・行動支援計画スキル学習会について</li> </ul>	未定
第3回 支援スタッフ部会 会議	令和6年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北フォーラムについて (実行委員会報告、今後の進め方について)</li> <li>・各地区の活動報告</li> </ul>	未定
第4回 支援スタッフ部会 会議	令和6年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北フォーラムについて (実行委員会報告、内容検討について)</li> <li>・各地区の活動報告</li> </ul>	未定
第5回 支援スタッフ部会 会議	令和6年9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北フォーラムについて (実行委員会報告、進捗確認)</li> <li>・各地区の活動報告</li> </ul>	未定
第6回 支援スタッフ部会 会議	令和6年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北フォーラムについて (実行委員会報告、進捗確認)</li> <li>・行動支援計画スキル学習会について</li> </ul>	未定
第7回 支援スタッフ部会 会議	令和6年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北フォーラムについて（最終確認）</li> <li>・行動支援計画作成スキル学習会について</li> <li>・本部活動及び各地区活動の中間報告について</li> </ul>	未定
東北フォーラム 2024 in 岩手	令和6年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会／分科会</li> </ul>	岩手県
第8回 支援スタッフ部会 役員会	令和6年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度各地区活動報告について</li> <li>・人権倫理委員会活動報告について</li> <li>・虐待防止責任者・管理者等研修会について</li> <li>・行動支援計画スキル学習会について</li> </ul>	未定
行動支援計画 スキル学習会のた めの事前勉強会	令和7年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区合同、人権倫理委員会と共催で開催</li> <li>・行動支援計画スキル学習会について</li> </ul>	未定

虐待防止責任者 管理者等研修会	令和7年1月	・人権倫理委員会と合同で実施	未定
第9回 支援スタッフ部会 役員会	令和7年2月	・行動支援計画スキル学習会（最終確認） ・本部及び各地区の年間活動報告について	未定
行動支援計画 スキル学習会	令和7年2月	・人権倫理委員会と合同で実施	未定
第10回 支援スタッフ部会 役員会	令和7年3月	・令和6年度 本部及び各地区年間報告、収支決算について ・令和7年度 本部及び各地区年間計画（案）、予算（案）に ついて ・行動支援計画書作成スキル学習会 結果報告について ・令和7年度 支援スタッフ部会総会について	未定



令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会 予算書(案)

○収入の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	
助成金	470,000	470,000	0	
本部助成金	470,000	470,000	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
預金利息収入	0	0	0	
合 計	470,000	470,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	230,000	80,000	150,000	
会議費	180,000	0	180,000	日当、旅費
消耗品費	25,000	30,000	△ 5,000	コピー用紙、印刷代
通信運搬費	5,000	0	5,000	現金書留代、封筒代
雑費	20,000	50,000	△ 30,000	お茶
事業費	240,000	190,000	△ 30,000	
研修費	60,000	0	60,000	講師料、会場費
各地区活動費	180,000	190,000	△ 10,000	研究調査費
予備費	0	0	0	
合 計	470,000	270,000	200,000	

事業費(研究調査費)

県北	30,000
郡山	30,000
県中	30,000
県南	30,000
会津	30,000
いわき	30,000
計	180,000

## 令和6年度 人権・倫理委員会 事業計画（案）

福島県知的障害者福祉協会 人権・倫理委員会として、県内の各障害者施設・事業所の利用者への意思決定支援を喚起し、虐待を未然に防止し、よって人権が擁護された支援の周知と取り組みの拡充及び安心して支援できる事業所体制を目指す。

### 【 令和6年度課題 】

- 1 障害者虐待防止の周知と質の高い人権が護られた支援の向上
- 2 障害者権利条約批准国として意思決定支援に基づく支援がされるアプローチ
- 3 障害者差別解消法に推進に向けての取り組み  
(2024年度より 事業者は義務化となった。)
- 4 支援スタッフとの共同実施
- 5 会員施設における「人権擁護に関するアンケート調査」にて、現状を把握する。

### 【 事業計画 】

- (1) 虐待防止自己チェック表の県内実施と全国へのアプローチ
- (2) 行動支援計画作成スキル学習会を支援スタッフ部会とともに企画
- (3) 虐待防止責任者・管理者研修会の開催

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会（人権・倫理委員会） 予算書(案)

○収入の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	300,000	300,000	0	
本部助成金	300,000	300,000	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
			0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	300,000	300,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	130,000	130,000	0	
消耗品費	40,000	40,000	0	
通信運搬費	10,000	5,000	5,000	
旅費	75,000	80,000	△ 5,000	
雑費	5,000	5,000	0	
			0	
事業費	120,000	120,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	
研究調査費	100,000	100,000	0	
予備費	50,000	50,000	0	
合 計	300,000	300,000	0	

## 令和6年度 政策委員会 事業計画（案）

### 1 政策に関する事業計画

- (1) 東北地区知的障害者福祉協会と連携し、日本知的障害者福祉協会を介し障害福祉に関する政策提言を継続する。
  - ・総合支援法改正法施行後3年の見直しに対して課題集約と協会本部への提言
  - ・令和6年度障害福祉サービス等報酬改定実施後の影響についての課題や要望などの意見集約と協会本部への提言
- (2) 東北地区知的障害者福祉協会政策委員として参画する。
- (3) 「2025年度福島県予算編成に対する各団体の要望事項等」に対し会員パブリックコメントをもとに要望書を提出する。
- (4) 「福島県障がい者施策推進協議会」へ岡崎副会長が参画する。

## 令和6年度 研修委員会 事業計画(案)

### 1. 研修に関する事業計画

#### (1) 合同研修会の企画・立案

- ・開催の有無を含め、三役にて検討予定

#### (2) 各部会・委員会ごとの研修会

- ・東北フォーラム は 岩手県にて開催予定

#### (3) 東北地区知的障害者福祉協会研修委員として参画する

- ・令和6年度東北地区知的障害者福祉協会専門研修会 開催県として企画運営

「個別支援計画と意思決定支援」をテーマ、前年度を引き継ぐ内容にて計画

対面による参加者同士のグループワークを通して参加者間の情報交換や振り返りを行って参加者の多くの気づきを深める。

日 時 令和6年9月12日(木)～13日(金)

会 場 郡山駅前にて調整中

※福島県協会 会員事業所より5名のファシリテーターと運営スタッフを派遣

※開催に向け、担当者による定例会を実施

- ・東北未来塾開講準備

令和6年度開校に向けて東北地区協会を中心に検討を重ねる

福島県から受講生2名程度の推薦必要

#### (4) 「福島県障がい者施策推進協議会」へ参画する

以上

(別紙)

## 東北未来塾の開講に向けた進め方について

令和5年度東北地区知的障害者福祉協会（以下「東北地区協会」という。）事業計画の「3. 人材の交流、研修の実施」において、東北未来塾構想に係る活動計画は以下のとおり掲げている。

「東北未来塾」については次の世代を担う人材の育成をねらいとして研修委員会で内容を検討して実施したい。

研修委員会において熟議を重ね、東北未来塾が目指すコンセプトを定めた。

- ・「次の世代を担う」というワードは、各県協会と各法人事業所にとって共通テーマであり、東北地区協会に限らず各所に反映できる取り組みになると良い。
- ・必要とする人材像の一つに「想いの橋渡し役」「調整を担う人材」の育成が必要といった印象があり、この点に絞った育成プログラムを構築できたら良い。
- ・名称は「仮称東北未来塾」（以下、「(仮)東北未来塾」と表記する。）とする。こととし、令和5年度は(仮)東北未来塾準備室として活動していく。

### 1. (仮)東北未来塾準備室の令和5年度活動計画

- ・各県よりご推薦いただいた方々からのヒアリング調査を実施する。
- ・ヒアリングは年度内に2回を予定。
  - 1回目のヒアリングを基に好事例や課題等を把握する。
  - 2回目のヒアリングにより好事例の整理や課題等の解決方策を検討する。
- ・それらを受け、次年度実施の(仮)東北未来塾研修プログラムに反映させる。
- ・その研修プログラムに沿う塾生の募集につなげる。

### 2. 各県協会よりご推薦いただく対象者の基準

- ・各県協会会員事業所から2名の方
- ・サービス管理責任者、施設長・管理者のうち
  - ①お一方は30歳～40歳
  - ②お一方は45歳～50歳代

※今回ご推薦いただく方々が(仮)東北未来塾の塾生ということではありません。次年度あらためて塾生を募集する計画です。

### 3. 今後の予定

推薦者名の報告 令和5年11月13日(月)まで  
ヒアリング1回目 令和5年12月上旬  
ヒアリング2回目 令和6年3月



## 議 案 3

障害者支援施設福島県けやき荘  
における虐待事件の聞き取り調査  
について



## 【けやき荘 入所者への虐待についての聞き取り】

日時 令和6年2月28日(水) 13:30~14:45

場所 太陽の国管理センター4階 大会議室

### 概要

#### 【虐待内容】

令和4年9月、朝食を待っていた利用者(男性)さんに熱湯につけたスプーンを体に押し付け18ヶ所のやけどを負わせた。

#### 【聞き取り内容要約】

虐待の現場を他の職員が見ていたものの、加害職員に問い詰めることができなかった。

また、管理者へ報告することもなかった。

令和4年12月に管理者が事態を把握し、本人へ連絡するも「眠れないため精神科へ行く」との言葉から『自殺するのではないか』という考えがよぎり、追求できず。

約1年間問題を放置する。

その間園長は、事の重大さから事業団のことや職員のことを考え、言い出すことができなかったとのこと。

12月に事業団の内部調査(事件とは関係ない)が行われたことにより事件が発覚する。

報告が遅れた理由として、「閉鎖的な環境の中、職員の配置も少なく、能力不足と感じられる職員が上司になっていることにより、上への報告ができなかった。また、日頃から職員とのコミュニケーションを取っていたし、虐待防止の研修は行っていたが、問題が発生するとそれは全く役に立っていなかったのがわかった」と園長は話している。

#### 【問題点】

- ・年功序列によるものなのか、能力不足の職員が上司となっていた。
- ・通報のスキームや虐待防止の委員会設置、研修会も行っていたが機能しなかった。
- ・利用者のことよりも事業や運営、職員のことを優先されていた。
- ・閉鎖的な環境、職員の人員配置(制度的なもの)

#### 【まとめ】

今回の虐待において、アンガーマネジメント能力や権利擁護意識に欠ける職員が引き起こした事件であるが、更に、職員の報告義務への認識の甘さや管理者が問題を放置するなど、利用者への配慮を欠く人権擁護意識の低さを露呈した事案となった。

事業所において、このような事件を起こさぬよう、研修による職員個人の人権擁護へのさらなる意識向上及び通報のスキームなどを見直していく必要がある。



# 議 案 4

## 役員改選について

会則第12条第1項第2項に基づく、令和4・5年度福島県知的障害者福祉協会役員名簿

役 職	担 当 名	施 設 名	職 名	氏 名
会 長		鮫川たんぼぼの家	施設長	江尻勝巳
副会長		新おおぞらの夢	管理者	岡崎立郎
副会長		生活介護事業所のはら	管理者	鈴木繁生
部会長	児童発達支援部会	桜が丘学園	園長	桑澤恵美子
部会長	障害者支援施設部会	さざなみ学園	施設長	佐川 滋
部会長	日中活動支援部会	ワークセンターさくら	施設長	小沼貴久
部会長	生産活動・就労支援部会	郡山市緑豊園	園長	滝田昌宏
部会長	地域支援部会	グループホームカルモ	管理者	小川弘一
部会長	支援スタッフ部会	福島県矢吹しらうめ荘	副主任援助員	鈴木勝治
委員長	人権・倫理委員会	すばる	管理者	小林優子
委員長	政策委員会	生活介護事業所ポポロ	所長	金野小百合
委員長	研修委員会	入所支援事業所 アルバ	管理者	品川寿仁
監 事		地域生活サポートセンターあゆり	管理者	深谷 健
監 事		みなみテラス	管理者	馬上政彦

【事 務 局】

社会福祉法人福島県社会福祉事業団

〒961-8061 西郷村大字小田倉字上上野原5番地3

TEL 0248-25-3020 FAX 0248-25-7673

Email kenfukushikyokai@fukushima-sj.jp

会則第12条第1項第2項に基づく、令和6・7年度福島県知的障害者福祉協会役員名簿（案）

役 職	担 当 名	施 設 名	職 名	氏 名
会 長		鮫川たんぽぽの家	施設長	江尻勝巳
副会長		新おおぞらの夢	管理者	岡崎立郎
副会長		生活介護事業所のはら	管理者	鈴木繁生
部会長				
部会長				
部会長				
部会長				
部会長				
部会長				
委員長				
委員長				
委員長				
監 事		地域生活サポートセンターあゆり	管理者	深谷 健
監 事		みなみテラス	管理者	馬上政彦

【事 務 局】

社会福祉法人福島県社会福祉事業団

〒961-8061 西郷村大字小田倉字上上野原5番地3

TEL 0248-25-3020 FAX 0248-25-7673

Email kenfukushikyokai@fukushima-sj.jp



# 【報告事項】

福島県知的障害者福祉協会  
会員の皆様

### 令和6年能登半島地震にかかる義援金のお礼について

令和6年能登半島地震に伴い、本会より被災施設等に対する災害義援金を募集しましたところ、全国より9,054万8,382円の義援金をお寄せいただきました。

温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

皆様からお預かりいたしました義援金は、北陸地区知的障害者福祉協会を通じて知的障害関係施設等の復興にお役立ていただくこととしております。

義援金をお寄せいただきました個人、団体の皆様に心からお礼申し上げます。

令和6年4月10日  
公益財団法人日本知的障害者福祉協会  
会 長 井 上 博



「令和6年能登半島地震義援金」  
入金一覧

令和6年4月5日現在

地区地方会等	地方会事務局経由	法人・事業所より
北海道	8,160,672	300,000
青森	757,989	0
岩手	706,884	34,600
宮城	1,432,744	0
秋田	1,616,567	0
山形	753,591	0
福島	4,585,861	0
茨城	2,176,000	36,500
栃木	1,421,005	0
群馬	2,786,088	0
埼玉	3,012,815	143,500
千葉	4,580,744	0
東京	1,664,228	0
神奈川	5,082,312	0
山梨	2,078,804	0
長野	1,143,447	130,000
静岡	1,895,059	35,418
愛知	4,218,651	10,000
岐阜	1,638,720	0
三重	2,700,000	0
新潟	2,042,088	0
富山	1,516,750	0
石川	0	0
福井	1,303,224	0
滋賀	938,500	200,500
京都	4,151,723	0
大阪	2,290,646	499,409
兵庫	2,613,564	0
奈良	646,191	0
和歌山	1,726,092	0
鳥取	490,000	0
島根	475,039	0
岡山	1,253,082	0
広島	2,921,680	0
山口	794,202	0
徳島	1,090,845	0
香川	536,500	0
愛媛	1,238,031	0
高知	528,650	0
福岡	3,095,587	0
佐賀	357,768	0
長崎	898,724	0
熊本	992,500	0
大分	1,308,723	0
宮崎	1,549,900	0
鹿児島	1,654,701	180,250
沖縄	106,064	0
協会事務局	14,750	0
都道府県等合計	88,947,705	1,570,177

※1

※2

協力団体等	金額
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
協力団体等合計	0

※3

個人	金額
ワダカツユキ様	500
中村なぎ様体操教室	30,000
	30,500

※4

総計	金額
※1+※2+※3+※4	90,548,382

支払	金額
2/1北陸地区会へ	15,193,461
4/8北陸地区会へ	75,354,921
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
義援金残額	0

北陸地区知的障害者福祉協会への支援金

1/12本会災害対策積立資産より	3,000,000

令和7年度全国知的障害者福祉関係職員研究大会(福島)プログラム案  
【1日目】11月27日(木)

時 間	内 容
11:30 ~ 12:30	受付
12:30 ~ 13:30	開会式
	①開会の言葉(岡崎副会長)
	②主催者挨拶(井上会長)
	③来賓挨拶(福島県知事、郡山市長等)
	④来賓紹介
13:30 ~ 13:50	休憩
13:50 ~ 14:50	行政説明(日本知的障害者福祉協会)
14:50 ~ 16:20	基調講演(福音楽療法士近藤美智子氏)
16:20 ~ 16:40	休憩
16:40 ~ 17:10	閉会式
	①江尻会長挨拶
	②次期開催県挨拶
17:10 ~ 17:30	アナウンス(ホテル、巡回バス、翌日の日程案内)
17:30 ~ 18:30	移動
18:30 ~ 20:30	情報交換会(懇親会)
~	
~	
~	
~	

【2日目】11月28日(金)※8時くらいから随時バス移動

時 間	内 容
9:00 ~ 9:30	受付
9:30 ~ 11:00	分科会(3分科会)
11:00 ~ 12:30	昼休憩(弁当配布)
12:30 ~ 14:00	分科会(3分科会)
14:00 ~	終了
~	
~	
~	
~	
~	
~	
~	

第10回 全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール 受賞者

文部科学大臣賞 (2名)

【小学生の部】○作品タイトル『笑顔のかけ橋になろう』

多田千杏瑠 さん (神奈川県 横浜市立矢向小学校 6年)

【中学生の部】○作品タイトル『本当のやさしさとは』

真砂 由奈 さん (香川県 小豆島町立小豆島中学校 3年)

厚生労働大臣賞 (2名)

【小学生の部】○作品タイトル『だれもが過ごしやすい世の中へ』

大野 陽夏 さん (神奈川県 横浜市立永野小学校 5年)

【中学生の部】○作品タイトル『人と人に対応する』

小林 裕衣 さん (福島県 須賀川市立大東中学校 2年)

内閣府特命担当大臣 (こども政策担当) 賞 (2名)

【小学生の部】○作品タイトル『わたしが守ってあげるよ』

内村 美月 さん (福岡県 北九州市立松ヶ江南小学校 3年)

【中学生の部】○作品タイトル『障がいを抱えて』

塚越 温佳 さん (群馬県 前橋市立南橋中学校 3年)

会長賞 (4名)

【小学生の部】○作品タイトル『きもちのつたえかた』

山本 幸咲 さん (埼玉県 所沢市立富岡小学校 1年)

○作品タイトル『みんなと学校と一緒に通える未来へ』

奥山 翔巳 さん (山形県 山形市立金井小学校 6年)

【中学生の部】○作品タイトル『だれにも住みよい街はどうやってつくる?』

池尻 淳史 さん (東京都 小金井市立小金井第二中学校 2年)

○作品タイトル『今伝えたいこと』

三浦 雛子 さん (岩手県 一関市立大東中学校 1年)

入 選 (計 104名)

第10回コンクール入選者の氏名・学校名・学年・都道府県名につきましては、後日、  
本会ホームページにおいて発表いたします。

